

# NEWSLETTER

## 比較経済体制学会

No.49 December 2014

---

### Contents

- ・ 2014 年第 13 回秋期大会を終えて
  - ・ 2015 年第 1 回比較経済世界大会のお知らせ
  - ・ 2015 年全国大会のお知らせ
  - ・ 比較経済体制学会臨時会員総会議事録
  - ・ 幹事会だより
  - ・ 新入会員のご紹介
  - ・ 編集委員会からのお知らせ
  - ・ 比較経済体制学会第 7 回研究奨励賞の募集
  - ・ 比較経済体制学会研究奨励賞規定
  - ・ 日本経済学会連合平成 27 年度補助申請に関するお知らせ
  - ・ 事務局からのお知らせ (弔報)
  - ・ 事務局だより
- 

### 比較経済体制学会第 13 回秋期大会を終えて

比較経済体制学会第 13 回秋期大会は、10 月 25 日(土)西武文理大学にて開催され、ハンガリーや学会外からの報告者も含め 60 名近い方々にご来場いただき、活発な議論の中、無事終了しました。首都圏ながら交通の便の悪い当キャンパスまでお越し頂いた学会内外の報告者、並びに会員の皆々様に御礼申し上げます。

当日は、田畑理一代表幹事の開会の挨拶、開催校を代表して本学・徳田行延サービス経営学部長の挨拶から始まり、午前の部の共通論題「ウクライナ危機とロシア」について、田端伸一郎会員の司会により、服部倫卓会員、石郷岡建会員、保坂哲郎会員からそれぞれロシア・ウクライナの鉄鋼業、ウクライナ東西分裂の原因、ロシアの世論の分析に関する報告が行われ、三菱商事・酒井明司氏が討論者を務められました。

午後の部では、ハンガリーから Fertő Imre 氏、Szalavets Andrea 氏をお迎えして特別講演が行

われ、司会は岩崎一郎会員が務めました。

続く自由論題は並行セッションとして、自由論題Ⅰ「労働と市民生活の移行経済論」で座長・道上真有会員の下、堀江典生会員、雲和広会員、石川晃弘会員による会員報告が、また自由論題Ⅱ「アジアの社会主義・アジアの移行経済」では、座長・辻義昌会員の下、相場大樹会員、山崎幸会員、文浩一会員による報告が行われました。なお、本秋期大会では、幹事会後に臨時総会が開催されました。

本学開学 16 年目にして実に初の学会開催でしたが、時宜を得た共通論題・外国人研究者の講演、興味深い自由論題の各報告により成功裏に閉会することができました。プログラムを立案頂いた岩崎一郎プログラム委員長並びにプログラム委員の田畑理一会員、安達祐子会員に深謝申し上げます。また、本学で教鞭をとる中谷勇介会員、日臺健雄会員、志田仁完会員には組織委員として運

営のサポートに尽力して頂きました。加えて当日は、ウクライナからの留学生 Hanis Taras 君を含め、本学でホスピタリティを学ぶ学生スタッフの活躍に、ご参加の会員からお褒めの言葉を多数頂き、彼らの励みとなりました。末尾ではありません

すが、運営、ご参加頂いた関係者各位に改めて謝意を申し上げます。

(第13回秋期大会組織委員長 松澤祐介)

## 2015年第1回比較経済世界大会のお知らせ

欧州比較経済学会 (EACES), 比較経済学会 (ACES), 韓国比較経済学会 (KACES), イタリア比較経済学会 (AISSEC), 欧州進化政治経済学会 (EAEPE) などとともに比較経済体制学会が共催する第一回比較経済世界大会が2015年6月25-27日にローマで開催されます。報告者募集について最終案内が届きました。

応募締切は2015年2月15日、詳しくは ([http://www.jaces.info/site\\_news\\_files/31-8-2014-Call%20for%20Papers%20-%20WORLD%20CONGRESS%20ROME%202015.pdf](http://www.jaces.info/site_news_files/31-8-2014-Call%20for%20Papers%20-%20WORLD%20CONGRESS%20ROME%202015.pdf))

\*\*\*\*\*

World Congress of Comparative Economics (WCCE2015)  
Roma Tre University, Department of Economics,  
via S. D'Amico, 77, 00145 ROME (Italy) June  
25 - 27, 2015  
<http://www.world-congress-comparative-economics.it>

Abstract 受付が開始されました。

すべて conference maker を通じての電子受付となります。

1. <http://editorialexpress.com/conference> に入って World congress, Rome(現在の順番号は42)を選択。
2. free Conference Maker account をクリック。
3. Email Address を入力し アカウントを作成。
4. アカウントから要旨送付 (main manu → papers → submit a paper  
\*abstract 入力欄の area としては Kuboniwa, ... (JACES)を選択してください。

要旨受付期間

organized panel (3-4 abstracts/papers): October 1, 2014 to March 1, 2015

single abstract/paper: October 1, 2014 to February 15, 2015

注1 これまでの PacRim 会議では single がほとんどでした。single を適宜組み合わせでパネルを構成しました。(久保庭先生)

注2 conference maker 利用上にトラブルがありましたら久保庭真彰先生

kuboniwa(at)ier.hit-u.ac.jp (at=@)までお問い合わせください。

\*\*\*\*\*

(事務局)

## 2015年全国大会のお知らせ (2015年10-11月頃 日本大学 開催)

2015年全国大会は、日本大学にて2015年10月～11月ごろ開催することとなりました。プログラム委員長:田畑伸一郎会員, 大会組織委員長:栖原学会員, 大会組織委員:池本修一会員, 杉浦史和会員, カ

ン・ビクトリア会員です。開催日程, 大会詳細については2015年4月頃に追ってご連絡致しますので宜しくお願い申し上げます。

(事務局)

## 比較経済体制学会第13回秋期大会・臨時会員総会議事録

比較経済体制学会第13回秋期大会当日、臨時総会が開催されました。

会員総会議長に久保庭真彰会員が選出されました。臨時総会は、プロジェクター資料にもとづいて進められました。以下、審議事項と報告事項とに分けて記載します。

### [審議事項]

1. 2016年6月全国大会開催校について、弘前大学教育学部にて開催、秋葉まり子会員が大会組織委員長に就任することが事務局より報告されました。この決定を受け、2015年度全国大会開催時期が秋に変更したことに伴い、「比較経済体制学会役員選挙細則」第7条（大会開催にかかわる幹事）幹事の任期を2016年度大会開催校に限り特例措置として、2014年10月25日秋期大会終了後～2016年6月全国大会終了時までの約1年8か月に変更することが事務局より提案され、全会一致で承認されました。

### [報告事項]

1. 2015年秋・全国大会プログラム委員長について、田畑伸一郎会員が就任したことが報告されました。

(事務局)

## 幹事会だより

比較経済体制学会第13回秋期大会当日、幹事会が開催されました。

最初に前回幹事会議事録を確認すると共に、事務局の会務報告を行いました。2015年度全国大会準備状況について、栖原学大会組織委員長より報告があり、大会組織委員に池本修一会員、杉浦史和会員、カン・ビクトリア会員が就任することが了承されました。編集委員長より、機関誌編集状況について報告がありました。また、事務局より、退会者についての報告と、日本経済学会連合、国際学会派遣補助に本学会より田畑伸一郎会員の派遣助成が採択されたことについて報告を行いました。

2. 2016年10月秋期大会開催校について、大阪経済法科大学にて開催、田畑理一会員が大会組織委員長に就任したこと、2015年全国大会・秋期大会合同大会終了時～2016年秋期大会終了時まで第7条幹事に就任することが報告されました。
3. 今後の大会スケジュールが以下のとおりと報告されました。
  - ①2015年6月25日—27日第1回比較経済世界大会（ローマ開催）：応募締切2015年2月15日
  - ②2015年8月3—5日 ICCEES 世界大会（幕張開催）：現在プログラム編成中
  - ③2015年10月頃比較経済体制学会第55回全国大会（日本大学開催）：栖原学・組織委員長、田畑伸一郎・プログラム委員長
  - ④2016年6月頃比較経済体制学会第56回全国大会（弘前大学開催）：秋葉まり子・組織委員長
  - ⑤2016年10月頃比較経済体制学会第14回秋期大会（大阪経済法科大学開催）：田畑理一・組織委員長

続いて審議事項に進みました。入会者1名の承認、2015年度全国大会プログラム委員長の委嘱、大会組織委員会の委嘱、2016年度全国大会開催校・大会組織委員長の委嘱、2016年度秋期大会開催校・大会組織委員長の委嘱、2016年度開催校幹事の任期延長についての特例措置について（臨時会員総会で承認を得ることも含め）審議し、すべて承認されました（委嘱内容については上記、臨時会員総会議事録参照）。

(事務局)

## 新入会員のご紹介

2014 年度全国大会以降に入会なさった方をご紹介します。  
いたします。

中村宗之氏 立正大学経済学部准教授  
(推薦者: 蓮見雄会員, 日臺健雄会員)

## 編集委員会からのお知らせ

学会機関誌『比較経済研究』(英語名称: **Japanese Journal of Comparative Economics**)は、レフェリー制投稿誌として、年2回発行しています。来年1月に刊行予定である52巻1号の企画内容は、次の通りに決定しました。

特集 「ロシア、中央アジア、中国のポリティカル・エコノミー: 『国家資本主義 (権威主義を含む)』をめぐって

Jan Hanousek and Filip Palda “The Evasional Kuznets Curve: A Possible Shadow Economy Dynamics During The Transition”

日臺健雄 「『国家資本主義』論の理論的系譜」  
樋渡雅人 「ウズベキスタンにおけるパトロネージ・ネットワークの分析: 政治経済学的な視点から」

丸川知雄 「国家資本主義から混合所有制経済へ向かう中国」

### 論文

柳学洙 「1970-1980 年代の朝鮮民主主義人民共和国における連合企業所の設立と組織形態: 企業レベルデータによる定量的接近」

### 書評

丸川知雄著 『チャイニーズ・ドリーム—大衆資本主義が世界を変える—』(金澤孝彰)

溝端佐登史編著 『ロシア近代化の政治経済学』(菅沼桂子)

中兼和津次 『開発経済学と現代中国』(秋葉まり子)

投稿原稿 (論文 (400 字×55 枚以内), 研究ノート (400 字×45 枚以内), 書評 (400 字×17 枚以内)) を募集中です。原稿は随時受け付けていますが、次号 52 巻 2 号(2015 年 6 月刊行予定)の投稿〆切は、2014 年 12 月末です。同号に掲載ご希望の会員は、杉浦史和編集委員 (fsugiura[at]mark]main.teikyo-u.ac.jp) に、原稿をご提出下さい。なお、企画の都合上、掲載号が次々号となる

場合がございます。続く 53 巻 1 号(2016 年 1 月刊行予定)の投稿〆切は、2015 年 8 月末です。

なお、当学会に連続 2 年度以上在籍している若手研究者(院生会員及び年齢 40 歳以下の正会員)が単独執筆した機関紙掲載論文は、原則として、その全てが自動的に「研究奨励賞」の候補対象となります。応募資格を持つ会員の皆様は、とくに奮ってご投稿ください。

『比較経済研究』は、独立行政法人科学技術振興機構が運営する科学技術情報発信・流通総合システム(J-STAGE)の登録雑誌です。最新号を含む全てのバックナンバーが閲覧可能です。どうぞ御活用ください。電子版トップページのアドレスは、<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjce/-char/ja/>です。

最近 2 年間弱のアクセス統計データ (全文 pdf) は次の通りです。

年	月	アクセス数
2013	1	144
	2	78
	3	103
	4	817
	5	589
	6	525
	7	821
	8	571
	9	628
	10	1004
	11	932
	12	615
2014	1	919
	2	823
	3	460
	4	898
	5	1249
	6	1050
	7	976
	8	684

(学会機関誌編集委員会)

**比較経済体制学会研究奨励賞応募要領のご案内**  
**2014年度(2013年度-2014年度)比較経済体制学会第7回研究奨励賞応募にあたって**

比較経済体制学会では2014年度(2013年度-2014年度)第7回研究奨励賞の応募を下記の要領にて公募しております。会員の皆様のご応募をお待ち致します。次ページ奨励賞規定をご覧ください。

2014年度を含み2年度以上連続して本学会に在籍し、院生会員または原則として審査対象期間の最終日において40歳未満の正会員が対象です。該当する会員によって執筆され、本学会機関誌あるいは他の学術誌に掲載された論文を審査対象とします。ただし入会初年度に公刊された論文は対象としません。他の学術誌に掲載された論文の場合には、本人あるいは他の会員の推薦を要します。また論文は単著であることを要します。

本学会機関誌以外の媒体に掲載された論文で比較経済体制学会研究奨励賞に応募される会員は、所定の応募用紙(自薦用)により必要事項をご記入のうえ、事務局にお送りください。また、奨励賞の対象者をご推薦される会員は、他薦用の所定用紙に必要事項をご記入のうえ、事務局にお送りください。なお、応募用紙は、比較経済体制学会ホームページからダウンロードしてください。

自薦・他薦いずれの場合でも、応募用紙の送付先は、事務局あてに郵送にてお願いいたします。受け取り次第、ご連絡を致します。

**応募の受付期間は、2015年2月1日から3月31日(到着分)までです。審査対象となるものは、2013年4月1日から2015年3月末までの既刊の論文です(2015年3月31日迄の刊行が決定しているものも対象です)。**また、応募に際して、以下の応募者の資格をご確認くださいようにお願い致します。

1. 院生会員であるか、原則40歳未満の正会員を対象としております。
2. いずれの会員の場合でも、2年度以上連続して在籍していることを条件としておりますので、2013年度以前に本学会に入会され在籍されている会員が対象となります。

なお、審査委員の選定の際に応募者の指導教員を除きますので、指導教員のお名前は必ずお書きください。

応募に際し、応募用紙とともに、審査の対象となる著書・論文・博士学位論文を5部提出していただきますようお願いいたします。この場合、電子媒体での提出はできません。紙媒体での提出をお願いいたします。審査対象論文等の送付先(郵送)も事務局です。応募書類および応募論文は原則として返却しません。

2015年3月31日までにご応募いただいた後、9月末頃に審査が終了し、2015年秋期・全国大会(日本大学)におきまして結果が公表されます。

会員の皆様のご応募、ご推薦を心よりお待ちしております。

研究奨励賞の問い合わせ・応募書類送付先

比較経済体制学会事務局  
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050  
新潟大学経済学部 道上真有  
Phone & Fax: 025-262-6518(研究室直通)  
学会Webサイト  
<http://www.jaces.info/>

(事務局)

2006年6月5日制定

2010年6月6日改正

## 比較経済体制学会研究奨励賞規程

(名称)

### 第1条

比較経済体制研究に関する学術の発展にとくに貢献すると認められる研究論文を顕彰することを目的として、会員(若手研究者)に対して「比較経済体制学会研究奨励賞」(以下「奨励賞」と呼ぶ)を与える。

(審査対象となる論文)

### 第2条

審査対象者の条件(第5条)を満たす会員によって執筆され、本学会機関誌あるいは他の学術誌に掲載された論文を審査対象とする。ただし入会初年度に公刊された論文は対象としない。他の学術誌に掲載された論文の場合には、本人あるいは他の会員の推薦を要する。また、論文は単著であることを要する。

(審査対象となる期間)

### 第3条

応募を行なう年度(当該年度)の前年度4月1日より当該年度3月31日までの2年間に公刊された論文を審査対象とする。

(授賞の回数および受賞者の数)

### 第4条

授賞は、2年ごとに1回とする。また受賞者は、原則として1名とする。

(審査対象者の条件)

### 第5条

審査対象者となる会員(若手研究者)は、当該年度を含み2年度以上連続して本学会に在籍し、院生会員または原則として審査対象期間の最終日において40歳未満の正会員とする。

(推薦方法)

### 第6条

第2条による、「他の学術誌に掲載された論文」の場合には、自薦または推薦者1名の他薦による。申請は、事務局による所定書類に基づく。

(審査機関)

### 第7条

幹事会は、翌年度6月に、5名からなる審査委員を指名し、審査委員長は審査委員の互選により選ばれる。ただし、原則として審査対象者の推薦者および指導教員は除外される。

(審査結果の発表)

### 第8条

審査委員会は、翌年度9月末日までに審査結果を幹事会に報告しなければならない。審査結果は秋期大会で発表される。

(表彰)

### 第9条

表彰は、原則として翌々年度全国大会総会時に行う。表彰に際し、表彰状と副賞が授与される。

(規程の改正)

### 第10条

本規程の改正および廃止には、幹事会の発議に基づき会員総会での出席会員の過半数の賛成を必要とする。

附則

1. 本規程は2010年6月6日から施行する。
2. 本規定に基づく募集の第一回締め切りは2011年3月31日とする。

**日本経済学会連合平成 27 年度補助申請に関するお知らせ**

日本経済学会連合より、加盟学会事務局に日本経済学会連合平成 27 年度事業の一環としての外国人学者招聘滞日補助、国際会議派遣補助、および学会会合費補助の要項、の申請書が届いています。

- (1)外国人学者招聘滞日補助  
第一次募集締切日平成 27 年 2 月末日;  
第二次募集締切日平成 27 年 6 月 20 日
- (2)国際会議派遣補助:  
同平成 27 年 2 月末日;平成 27 年 6 月 20 日
- (3)学会会合費補助:  
同平成 27 年 2 月末日;平成 27 年 6 月 20 日

補助内容については、下記の WEB サイトでご確認ください。

<http://www.gakkairengo.jp/>

日本経済学会連合の補助は、加盟学会単位での申請です。特に、国際会議派遣補助については、1 学会 1 件の申請となっており、加盟学会代表者の推薦を受けることが条件となっております。また、第一次募集においていずれかの補助を受けた場合、第二次募集には学会として応募することが出来ません。更に、2 年連続して同一学会が補助を受けることも出来ません。

なお、平成 26 年度は、国際学会派遣補助の第二次募集に本学会より田畑伸一郎会員（北海道大学）の派遣助成が採択されました。派遣会議は、アメリカ合衆国、テキサス州サンアントニオ市マリオット・リバーセンターにて開催の 2014 年 11 月 20 日～23 日 The 46<sup>th</sup> Annual Convention of the Association for Slavic, East European, and Eurasian Studies, ASEES でした。

比較経済体制学会事務局では、上記補助をご希望の方々からの申請を受け付けています。

応募ご希望の会員のみなさまは、上記日本経済学会連合 WEB サイトにて申請書をダウンロードし、必要事項と各申請に必要な書類を同封のうえ、事務局までお送りください。事務局受付締切日は、各募集締切日一ヶ月前（第一次募集は平成 27 年 1 月末日、第二次募集は 5 月 20 日）とします。詳しくは、日本経済学会連合 WEB サイトをご覧ください。

応募者多数の場合は、幹事会において選考のうえ、本学会として推薦する応募を選定します。ただし、本学会の推薦が補助決定を約束するものではありません。また、申請金額の満額が助成されるとは限らず、助成金額については日本経済学会連合の審査によって決定されますことにもご留意ください。

(事務局)

### 事務局からのお知らせ(甲報):

2014年は、当学会の発展に重要な役割を果たされた先生方が相次いでご逝去され、大変悲しい年でもありました。先生方の多大な貢献に感謝しつつ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

#### 1. 上原一慶会員ご逝去

上原一慶会員が、2014年2月2日ご逝去されました。享年70歳でした。上原先生は京都大学教授、大阪商業大学教授を歴任され、著書『中国の経済改革と開放政策』、『民衆にとっての社会主義』など中国経済研究の分野で数多くの業績を上げられました。

また上原先生は当学会幹事としても、1977-1980年度、1983-86年度、1989-92年度、1995-98年度、2003-2004年度と長きにわたり重責を担われ、当学会における中国経済研究の発展、ひいては当学会そのものの発展にも大きく貢献されました。

#### 2. 佐藤経明会員ご逝去

佐藤経明会員が、2014年8月5日ご逝去されました。享年89歳でした。佐藤先生は横浜市立大学教授、日本大学教授を歴任され、著書『現代の社会主義経済』、『ポスト社会主義の経済体制』や、翻訳書 M.ドップ『社会主義計画経済論 集権化・分権化・民主化』、W.ブルス『社会主義における政治と経済』、M.エルマン『社会主義計画経済』、J.コルナイ『資本主義への大転換 市場経済へのハンガリーの道』、W.ブルス、K.ラスキ『マルクスから市場へ 経済システムを模索

する社会主義』など、ソ連・東欧の社会主義経済研究や経済体制研究の分野で数多くの業績を残され、我が国のみならず海外においても大変ご活躍されました。佐藤先生は当学会創成期からのメンバーとして、また1987年度から1990年度には2期連続での代表幹事として、当学会の発展に大きく貢献され、社会主義経済学会から比較経済体制学会への名称変更にもご尽力されました。

#### 3. 宮鍋幟会員ご逝去

宮鍋幟会員が、2014年8月20日ご逝去されました。享年87歳でした。宮鍋先生は一橋大学教授、東京国際大学教授を歴任され、著書『ソヴェト農産物価格論』、『社会主義経済論』や、翻訳書にG.チェルダンツェフほか『ソヴェト経済地理概論』、E.リーベルマンほか『ソヴェト経済と利潤』、V.ダダヤン『計画経済と再生産モデル』、R.セルツキー『社会主義の民主的再生：新しい政治経済

システムの展望』など、ソ連経済研究や社会主義経済研究の分野で数多くの業績を残されました。宮鍋先生は当学会の創成期から重要な役割を担われ、1985年度から1986年度には代表幹事、1988年から1991年には日本学術会議第14期会員も務められ、当学会の発展ならびに学術会議における当学会の地位向上に大きく貢献されました。



---

### 事務局だより

2015年6月25日-27日開催の第1回比較経済世界大会(ローマ)の報告者募集のお知らせをいたしました。締切は2月ですので、皆様奮ってご応募ください。またご案内いたしました通り、学会研究奨励賞の応募も2月から始まります。ご応募、ご推薦をお待ちしております。

2015年8月幕張でのICCEES世界大会、10月～11月開催予定の全国大会(日本大学)のお知らせに加え、さらにその先の2016年全国大会(弘前大学)、

秋期大会(大阪経済法科大学)の開催校も決まりました。会員の皆様におかれましては、各大会に是非奮ってご参加下さい。

本年も会員の皆様から学会運営に多くのご協力を賜りましたこと、代表幹事、事務局一同、心より感謝申し上げます。来年も引き続き事務局運営に温かいご理解とご助力をお願い申し上げます。

皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。

(事務局)

---

ニューズレターNO.49

2014年12月26日発行

比較経済体制学会事務局

総括担当：新潟大学経済学部 道上真有  
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050  
Phone & Fax 025-262-6518  
E-mail: michigami (at mark) econ.niigata-u.ac.jp

会計担当：一橋大学経済研究所 岩崎一郎  
E-mail: iiwasaki (at mark) ier.hit-u.ac.jp  
メンバーシップ管理/Webサイト担当：  
富山大学極東地域研究センター 堀江典生  
E-mail: horie (at mark) eco.u-toyama.ac.jp